

国の史跡及び名勝の雪舟作「常栄寺庭園」や  
晩年を過ごしたと言われるアトリエ「雲谷庵跡」がある。

# 山口県 山口市

Yamaguchi City

## ご挨拶 ～サミットに寄せて～

雪舟ゆかりの自治体が集い、今回の開催で19回目を迎える雪舟サミットを、構成市の防府市をはじめ、近隣の7市町との連携のもと開催しております「山口ゆめ回廊博覧会」の一環として本市で開催できますことを、大変喜ばしく思っております。本日お越しの皆様には、この機会に山口市及び当博覧会の開催市町の見どころを満喫していただければと存じます。

本サミットが雪舟ゆかりの6市の絆と連携をより一層深めるものとなりますとともに、各地域の「歴史文化資源を生かした多様な交流が生まれるまちづくり」を促進する契機となることを願っております。



山口市長 渡辺 純忠

## 市の紹介

山口市は、山口県のほぼ中央に位置する人口約19万人の県庁所在地です。北は中国山地の山々が連なり、南は瀬戸内海に面する南北に長く広大な市域を有しています。

室町時代には、守護大名・大内氏の本拠地となるとともに、大内氏が東アジア各地と積極的に交流したことで、国際的な文化と、華やかな京都の文化が融合した、「大内文化」が花開きました。国宝の瑠璃光寺五重塔は大内文化の最高傑作であり、山口市のシンボルとして多くの市民に愛されています。

市内にはこのような大内氏ゆかりの史跡や建造物が残るほか、大内氏の時代から親しまれてきた湯田温泉、山口の夏を彩る祇園祭や山口ちょうちんまつり、伝統工芸品の大内塗や大内人形など、大内文化を今に伝えるものが数多くあります。ぜひこの機会に、雪舟が訪れ雪舟を育てたまち山口を楽しんでください。

## 雪舟とのつながり

雪舟は、大内氏を頼って山口を訪れ、大内氏の遣明船で中国大陸に渡り、帰国後は山口に最も長く滞在しました。雪舟がアトリエとしたとされるのが、山口市指定史跡「雲谷庵跡」の地で、国宝「四季山水図」を描いたとされています。現地には、明治17年に古建築の部材を利用して復元された庵が建っています。

国の史跡及び名勝に指定されている常栄寺庭園は、大内政弘の命により雪舟が作庭したと伝わる庭園です。三方を山に囲まれた地に、池泉を主体に作庭されており、四季折々に美しい姿を見せてくれます。このほかにも、昨年10月に整備工事を完了した国指定名勝常徳寺庭園など、伝雪舟作とされる庭園が、市内には複数残っています。

また、山口県立美術館では、12月19日までを開期としてコレクション特別企画「雪舟流の魅力」が開催されております。この機会に雪舟作品を是非ご覧ください。